

## 市長のタイ国グラビー県訪問旅費や歴史資料館設置準備の予算などを計上 3,256万1,000円を追加する一般会計補正予算

6月定例会市議会に提案された一般会計補正予算では、市長や職員が8月にタイ国グラビー県を訪問するための予算やテラス沼田に設置される歴史資料館の開設準備のための予算など、総額3,256万1,000円が追加されました。

歴史資料館の開設準備に学識経験者による展示資料、展示の方法などについてアドバイスを受けるための謝礼として、17万7,000円が計上されました。

図書館が開設する時には準備室が設置されていたことから大東議員は、「歴史資料館の開設のための準備室を設置するのか」と質疑し、担当部長は、「市長部局と協議し、検討したい」と答えました。

## 一般質問で市内近代化遺産の調査保存を求める

大東議員は6月定例会市議会で、沼田高校の管理教室棟と屋内運動場が国登録有形文化財となったり、利根軌道がプラタモリで紹介されたことなどから、市内に残る近代化遺産を調査し、保存するよう求めました。

教育長は、「平成2年度から県教育委員会がおこなった調査で45件、沼田市史による調査で、旧市内の25件の建物の調査がおこなわれた。これらを基礎資料として地元からの情報や文化財調査委員の意見も聞きながら調査について検討したい」と答えました。

近代化遺産の保存と活用について教育長は、「条件が整えば市の文化財に指定したり、国の登録有形文化財に推薦したい」と答えました。

## 利根中央診療所 11月開設予定

介護老人保健施設とねに併設されている、「とね診療所」が施設から独立し、旧利根中央病院第2駐車場（西側駐車場跡）に「利根中央診療所」として開設されます。

11月の開設にむけ、工事がすすめられています。

「利根中央診療所」では、地域のかかりつけ医療機関として、地域に身近な診療所をめざします。



## 続ぶらり散歩 めまた道 川田地区あれこれ 特別編その二十二

### 遷流寺の子育観音と摩多羅神

遷流寺の境内にある子育観音（写真右）は、遷流寺十二世住職の浄運和尚が、寛政10年（1798）に高遠の石工につくらせたもので、切れ長の目と眉で少し微笑をたたえ、やさしく子どもを抱いている石仏です。

遷流寺の子育観音は、安産、夜泣き、寝小便など子育てのいろいろな悩みを取り除いてくれる観音様として、願掛けに多くの方が訪れ、願いがかなわない願生果しには、そばがしんぜられたようです。

摩多羅神（まだらじん写真下）は、天台宗であがめる神で、円仁が唐から帰国する船のなかで現れたと伝えられ、常行三昧堂の守護神として祀られています。

摩多羅神は、疫病退散の神としても祀られ、地域によっては、大黒天（大国主命）と習合し、三面六臂の像となりました。

遷流寺の摩多羅神は、江戸時代後期の文化年間に悪疫が流行した際、十四世の隆法和尚が、役病除けとして西国から勧請しました。



## 安倍政権に審判 都議選で日本共産党19議席に前進

2日、投開票でおこなわれた東京都議選で、都民ファーストの会が49議席を得て、第1党となり、自民党は過去最低となる23議席にとどまり歴史的惨敗を喫し、安倍政権にきびしい審判が下されました。



日本共産党は、現有17議席から19議席へと2議席前進しました。

2017年7月9日

NO. 531

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

**やまびこ**

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料